

白糠高校に学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を設置します！ (令和4年8月設置予定)

令和4年4月27日

将来ビジョン (めざす学校像)

多様で変化の激しい社会において、逞しく生きる生徒を育成し、地域の学校として、地域の活力の源となるよう、地域に根ざし、地域に愛され、地域とともに成長する学校をめざします。

◎コミュニティ・スクール導入の目的

- 地域の人材やアイデアを生かした特色ある学校づくり → 地域の総合力で生徒の成長を支え、地域の活性化につなげる。
- 地域を担う人材の育成 → 郷土を愛する心を育み、将来ふるさとを支える人づくりにつなげる。
- 入学者数の確保 → 高校への理解が深まり、高校入試においては生徒に選ばれる高校につなげる。

◎コミュニティ・スクールとは？

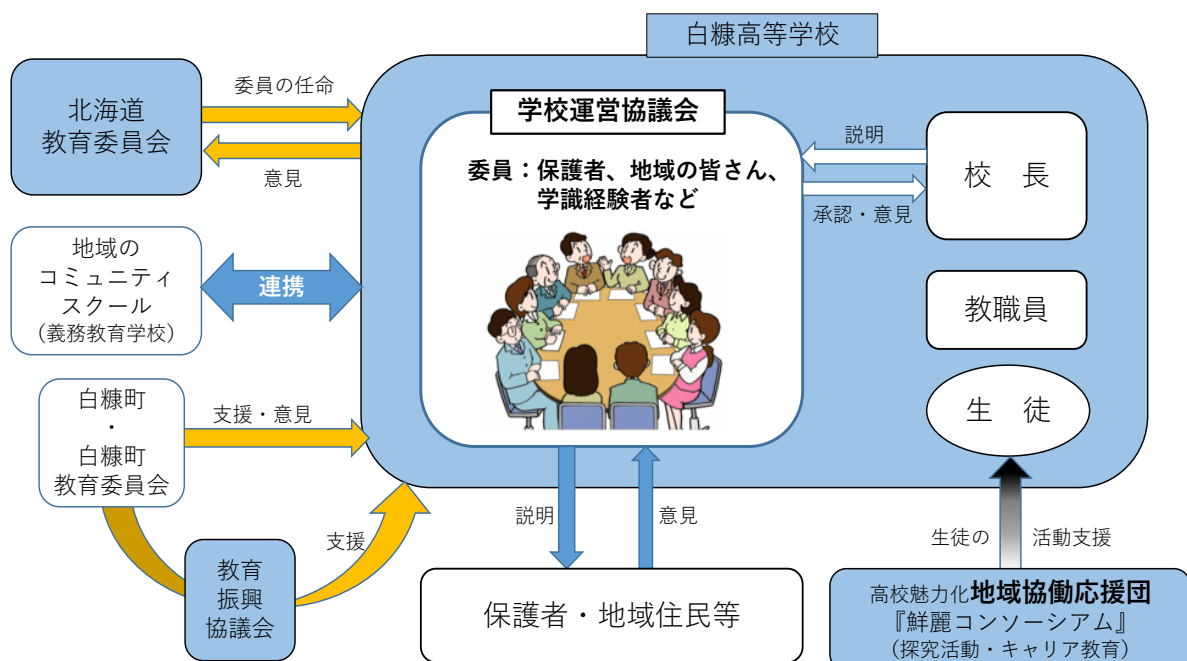
コミュニティ・スクールとは「**学校運営協議会**」を設置している学校のこと。

従来より各学校には学校評議員制度がありました。しかしこの制度は校長の求めに応じて、個人的に学校運営に関する感想を述べるに止まりました。これに対して、**コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)**は、一定の権限をもった保護者や地域住民等が学校と力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「**地域とともにある学校**」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、**地域と一体となって**特色ある学校づくりを進めていくことができます。

◎コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の機能とは？

- ① 校長が作成する「学校経営基本方針」を承認します。
- ② 学校運営に関して校長に意見を述べることができます。
- ③ 教職員の採用その他の任用に関して、校長を通じて北海道教育委員会に意見を述べることができます。

◎白糠高校のコミュニティ・スクールのイメージ



◎コミュニティ・スクール(学校運営協議会)のメリットとは？

- ① 先生方が異動しても、コミュニティ・スクールがあるので、学校と地域や保護者との連携・協働が続いていきます。
- ② 地域の皆さんが学校運営の当事者となるので、地域社会全体で子どもたちを育てることができます。
- ③ 地域の力を借りたり、連携した授業や活動を行うことで、教育力の向上や教員の負担軽減につながります。

◎コミュニティ・スクール(学校運営協議会)導入校に聞きました！

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)を導入してどんな成果がありましたか？

- ① 学校と地域が情報を共有するようになった。(89.0%)
- ② 地域と学校が互いに協力的になった。(81.9%)
- ③ 特色ある学校づくりが進んだ。(81.2%)
- ④ 子どもの安全・安心な環境が確保された。(77.0%)
- ⑤ 地域と連携した取組が組織的に行えるようになった。(75.5%)
- ⑥ 学校関係者評価が効果的に行えるようになった。(75.1%)
- ⑦ 学校に対する保護者や地域の理解が深まった。(73.1%)
- ⑧ 管理職の異動があっても継続的な学校運営がなされた。(72.4%)
- ⑨ 学校が活性化した。(68.5%)
- ⑩ 保護者・地域による学校支援活動が活発になった。(63.1%)
- ⑪ 教育課程の改善・充実が図られた。(57.1%)
- ⑫ 保護者と学校が互いに協力的になった。(56.8%)
- ⑬ 学校の組織力が向上した。(56.6%)
- ⑭ 教職員の意識改革が進んだ。(55.9%)
- ⑮ 地域の教育力が上がった。(51.0%)

◎コミュニティ・スクール(学校運営協議会)での具体的取組

- 学校と地域の防災体制の強化(協働防災訓練)
- 地域人材育成(地域協働応援団の協力)
- 花壇整備・校庭の活用
- 広報等の情報発信
- 学習・部活動等支援
- 小中学校のコミュニティ・スクールとの連携
- 体験活動(社会奉仕体験活動、自然体験活動、職場体験活動等)
- 地域イベント・行事等への参加

◎コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の一年間の流れ(例年)

第1回(5月)

- ・学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の会長及び副会長選出
- ・白糠高校の現状と課題の整理、目標の共有
- ・年間計画及び活動計画の承認

第2回(10月)

- ・白糠高校の教育活動(公開授業等)の視察
- ・今年度の取組の進捗状況の把握
- ・次年度に向けた課題整理

第3回(3月)

- ・白糠高校の現状と課題の整理(学校関係者評価の実施)
- ・次年度の基本方針の承認に向けて
- ・次年度の年間計画等の作成
- ・次年度の学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の構想